

樂亭西馬譯  
雄齋國輝画

外題曲系(因)

~ 13  
3693  
34

錦昇  
堂販

下

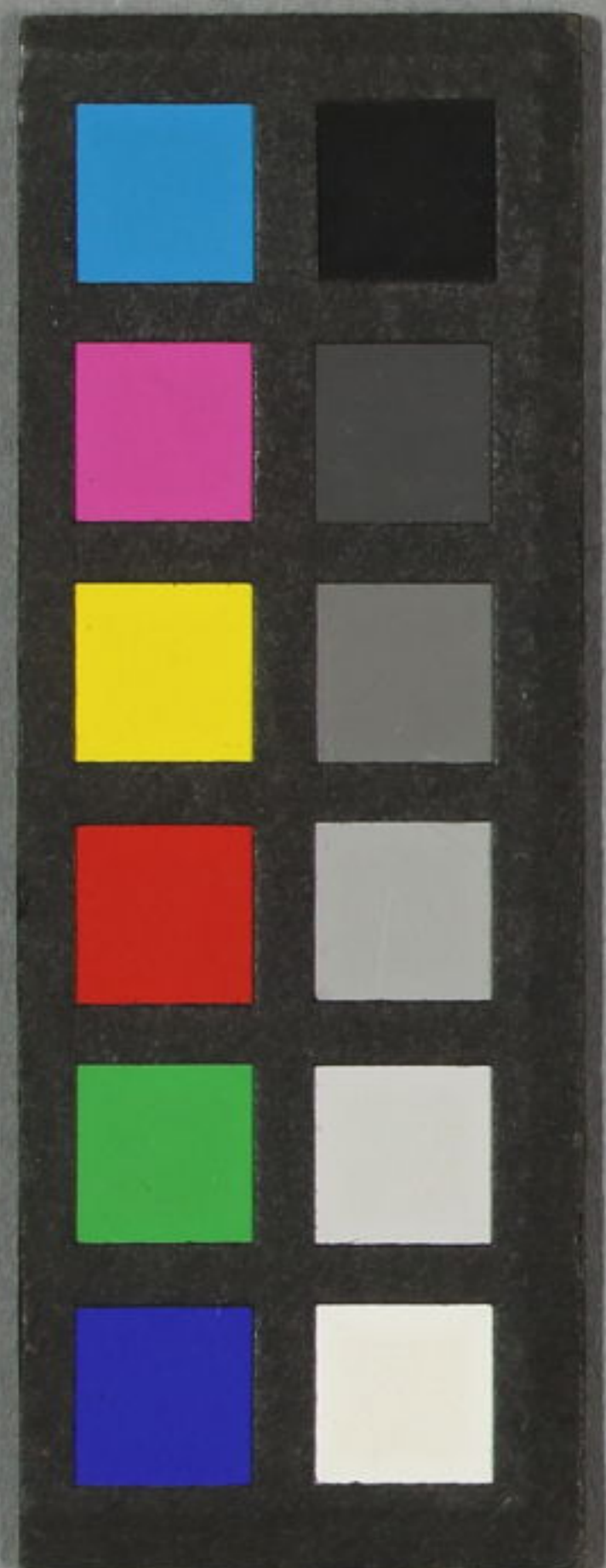


己張月七  
編

~ 13  
3693  
33







13  
3693  
33



門へ13  
3693  
卷33

二律

# 月張

十七編上冊  
西馬老人著  
一雄齋國輝画

錦昇堂梓

一編七十



アラ怪やも斯もあし獅子の茨言ふく去程に是亦と説経の語出ゆり。まやアグトハ  
古跡を捨せりぬ。まやかやまのトハ時花の戯車言ふく却説案下ハ画牌史の致切開  
る中にも隅田の花も鉢植の藜蘆と愛。廓の夜櫻の案内の凡ハ附奥同徒見説く  
何某の茶席崩れよ妾宅の兼唄と漢文ゆり。解かぬ妙とまるとされハ定朝新狂  
言と曾あむくハ財劇似者も。一銭能く當百投て半時の血を奇絶と樂む。おれハ世  
に撲免と。毎時荷籠のお方ハ館倉前の坊ハ新内ハあむ。可愛けりやそ孫の世話鴉乃  
啼ぬ日あれと。勤出あやむぬ俗事の暇錦昇堂の催促ハ一應も三度も日暮の飯音とあ  
夜業の燈下板元ハ貝の肩とえ。ひれて終る弓張月第十七編の草稿と。皋月中旬の短夜  
空と走るハ蜀魂とこれハ南の琉球の談也。間もあむぬ早認撰素人製の柏餅夜ハ  
ふけり。齒に付ちる序文とあれ。うきと御笑覧呈候

安政四丁巳年五月草稿成  
五戊午年正月茂市

樂亭西馬戲述







支考

是の  
毛國門字

傳阿公

東風平  
按司陶松壽



南風原城主  
相國利勇

毛國門  
船鶴

乃 子  
乃 子  
乃 子

鶴弟龜

榎平  
許六



長月十七



今  
すーつ  
やうふ  
とん  
押合ぬ  
雨夜  
乃  
おん  
少年  
西馬

○為朝再室  
白縫王女

○幻僧  
矇雲

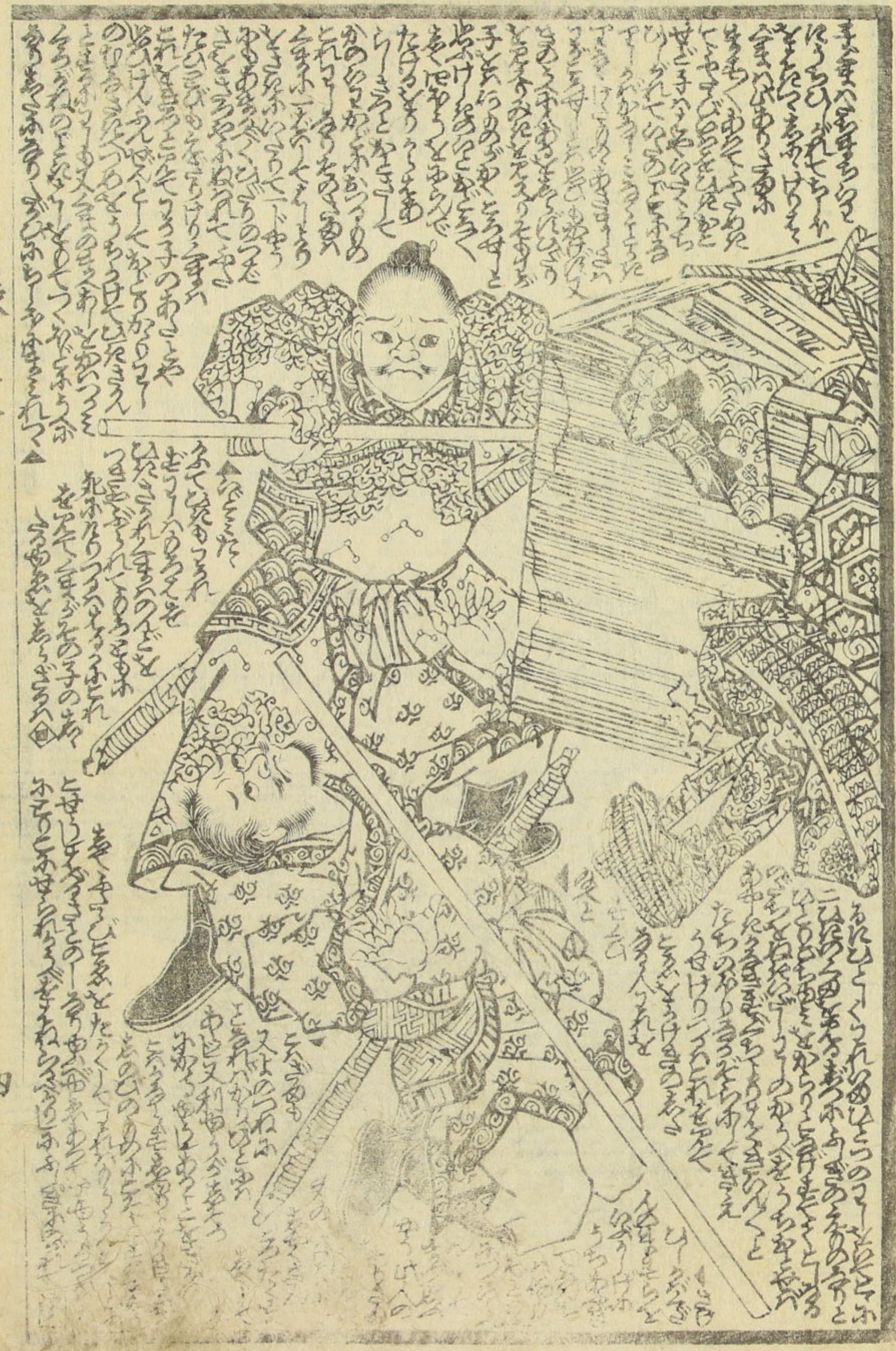


狂歌百物語  
かたはらの社  
解の代  
死念  
梅屋  
けり  
を  
風  
梅屋

○妖婦  
海棠

○大里按司  
八郎為朝





上ノ巻 月十一

五



























安政五戊午春新彫目錄

全地本草紙問屋  
笑壽屋庄七版

竹雀千代味

西馬補案  
國輝画圖

聖德太子  
大和鏡

万草庵賀作  
寺齊國貞画

三鱗形  
鏡倉双糸

西馬作

雲龍九郎偷傳

故三馬遺稿  
增補西馬案  
画工一勇齋



國輝画西馬譯

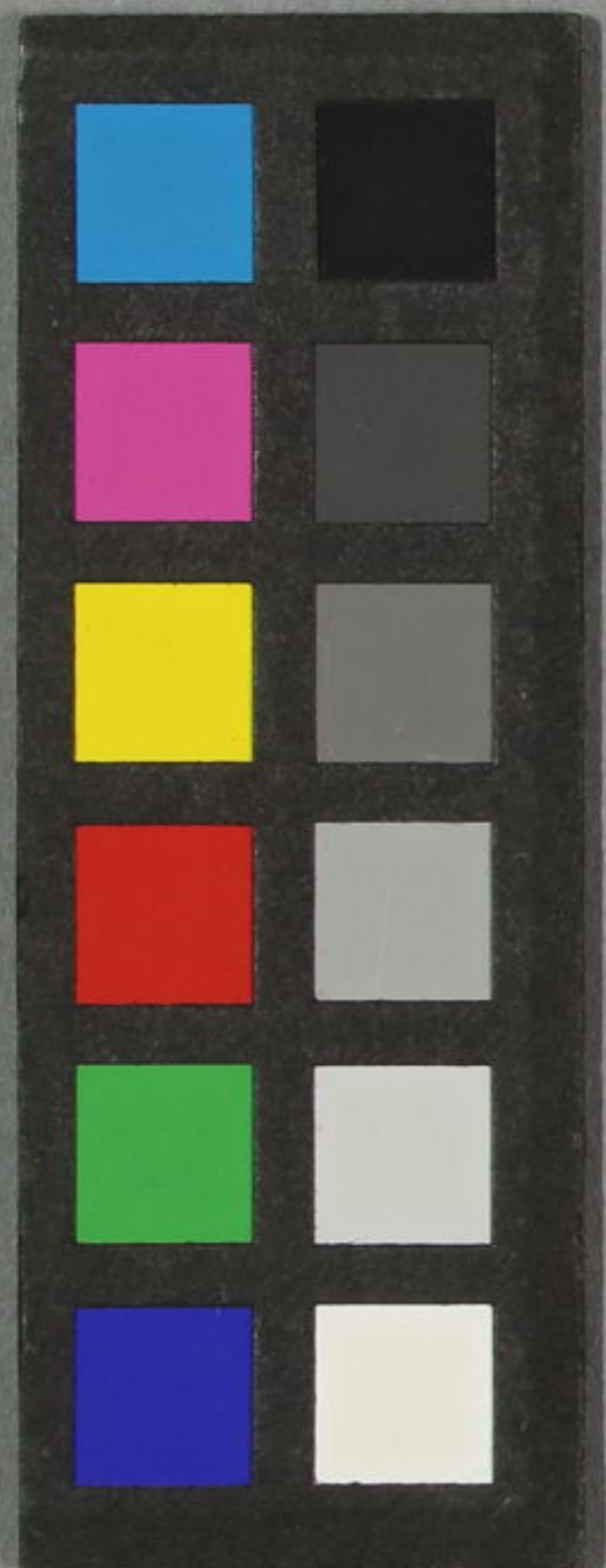
此の馬は西馬の  
名馬にして其の  
力強く走ること  
速く其の毛色は  
白く其の鬃毛は  
長く其の尾毛は  
長く其の蹄は  
強く其の口は  
鋭く其の鼻は  
長く其の眼は  
鋭く其の耳は  
長く其の舌は  
長く其の喉は  
鋭く其の胃は  
鋭く其の腸は  
鋭く其の膀胱は  
鋭く其の腎は  
鋭く其の心臓は  
鋭く其の肺は  
鋭く其の肝は  
鋭く其の脾は  
鋭く其の胆は  
鋭く其の胃は  
鋭く其の腸は  
鋭く其の膀胱は  
鋭く其の腎は  
鋭く其の心臓は  
鋭く其の肺は  
鋭く其の肝は  
鋭く其の脾は  
鋭く其の胆は

為朝









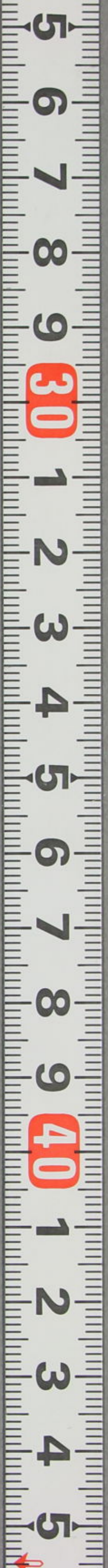
樂亭西馬譯  
雄齋國輝画

外題曲系(國書)

錦昇堂  
販

下

~ 13  
3693  
34





門 13  
 號 3693  
 卷 34

山王法衆十七條

下の巻

衆多西多條

一海島

國之衆あり

美壽屋持

擲板

噴呷



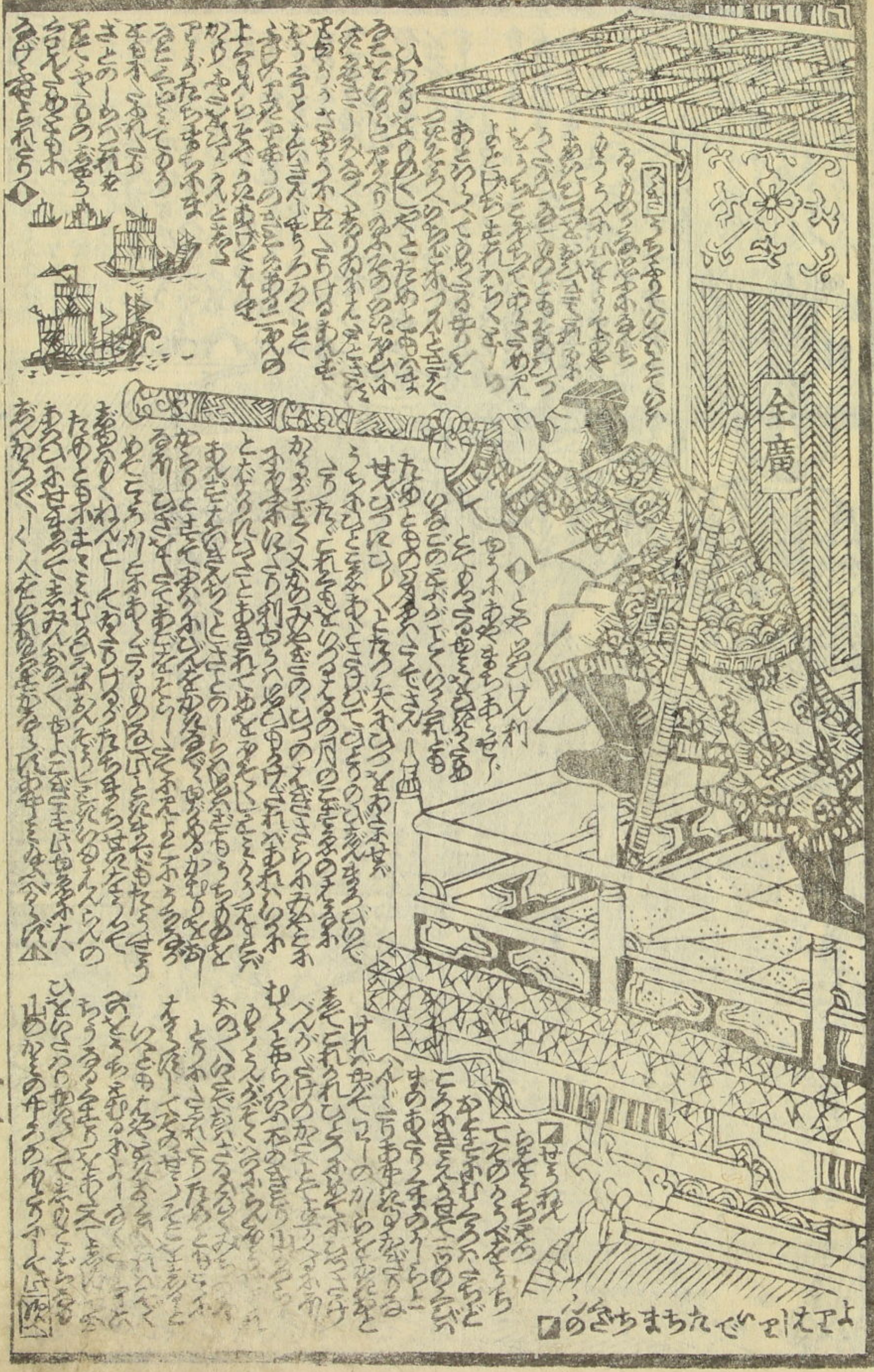
五  
 三  
 六







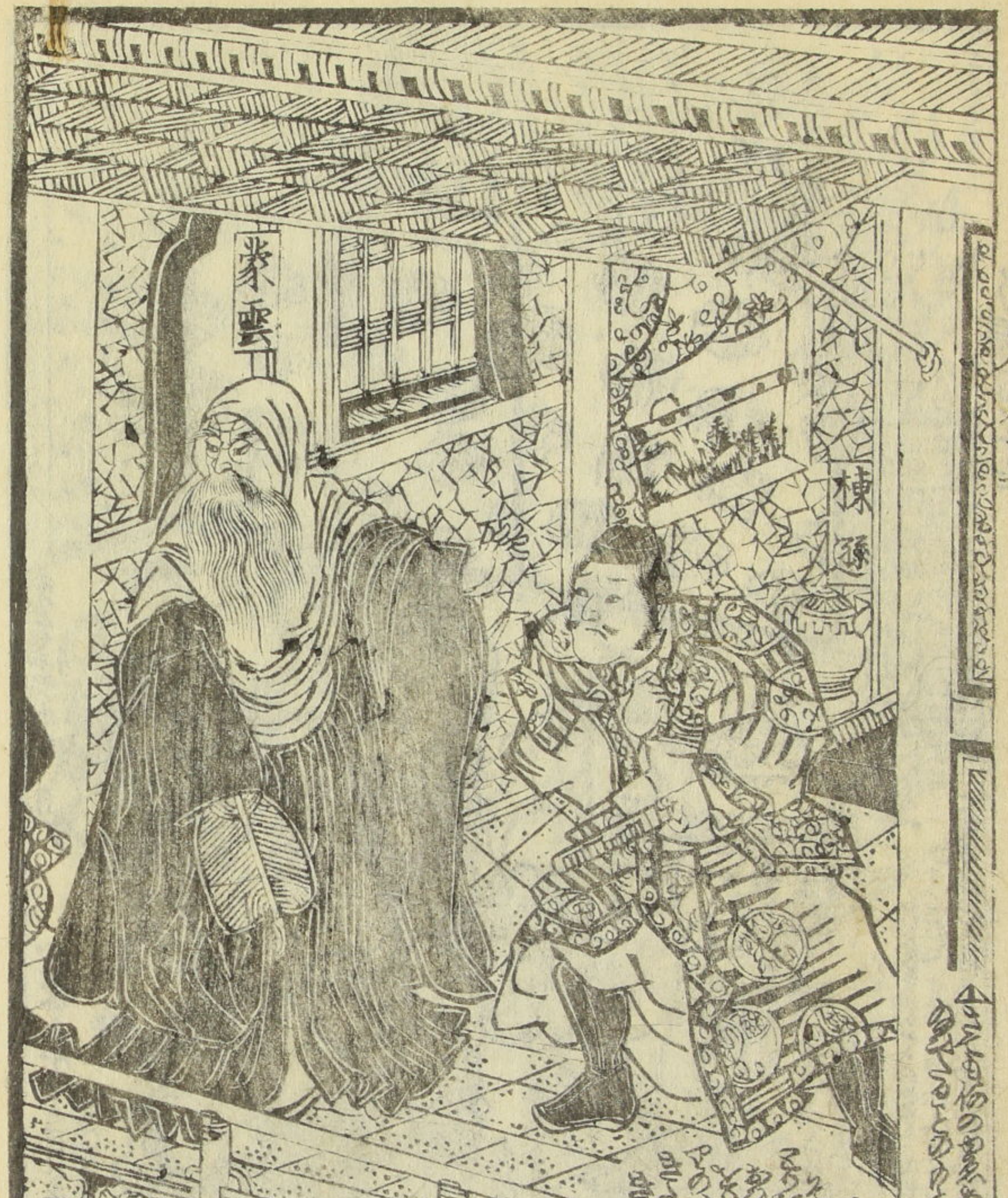
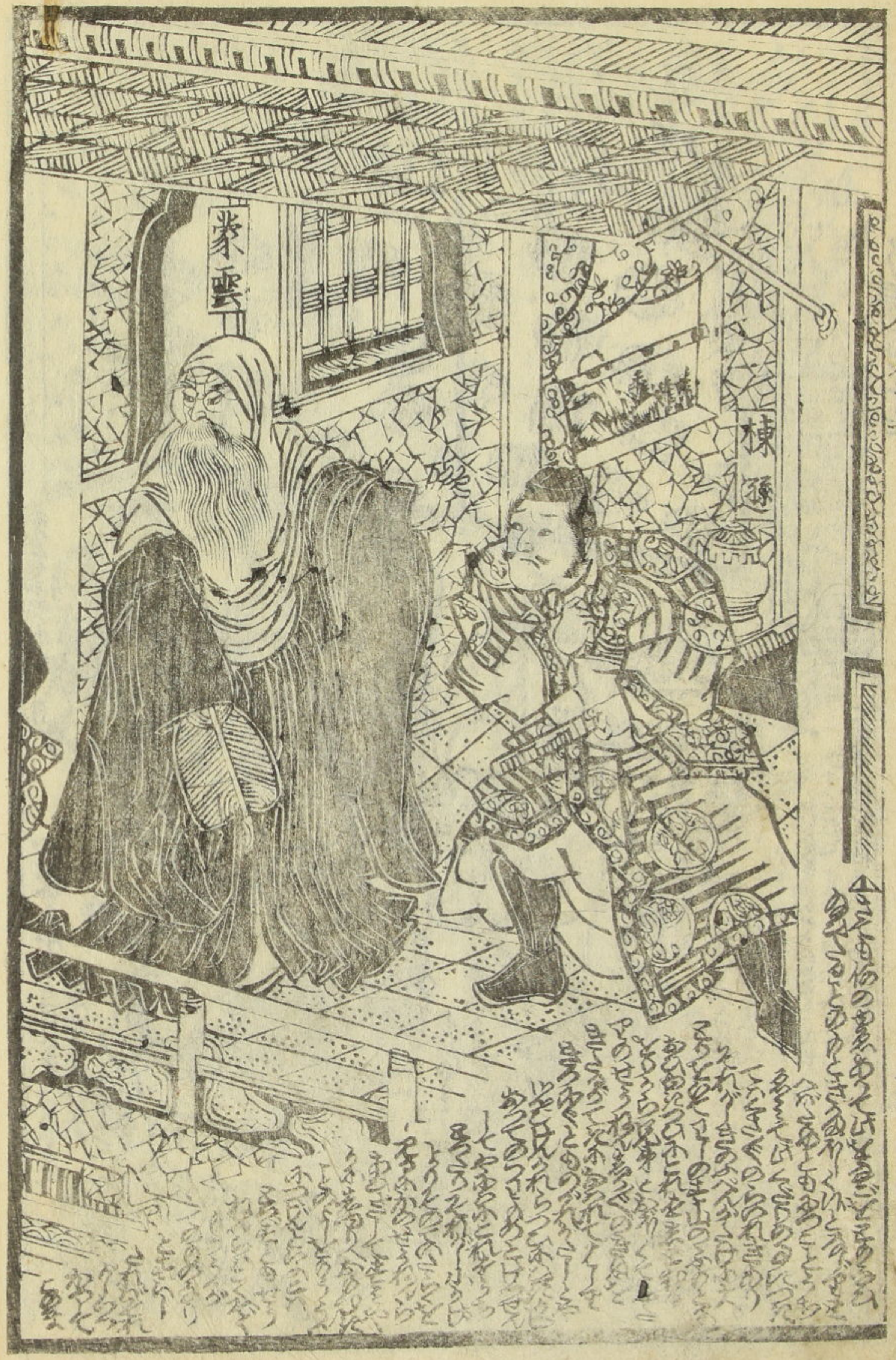




全廣の舟に乗りて  
下流に下るるに  
舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る  
舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る

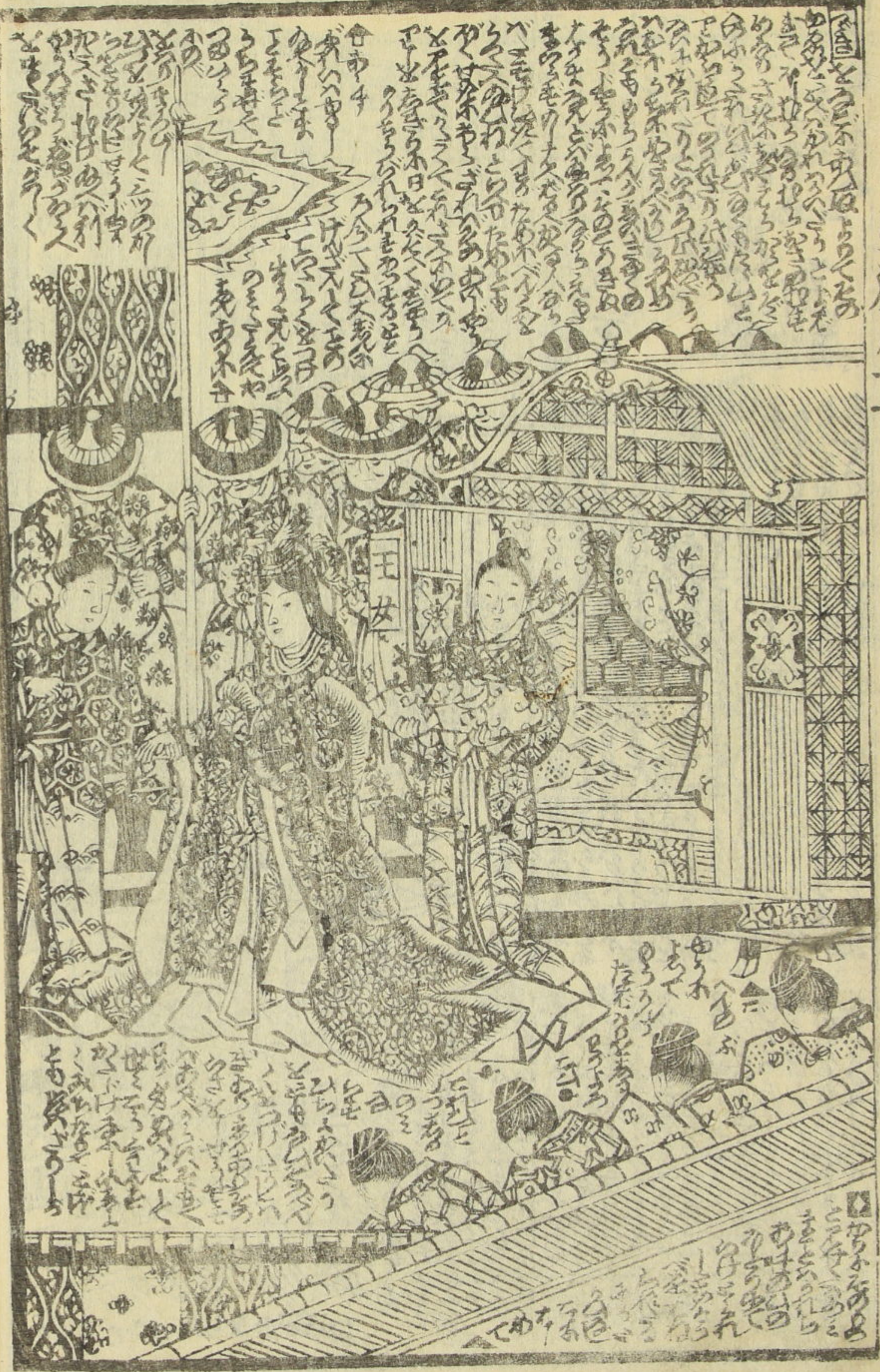
舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る  
舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る

舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る  
舟のなかには  
舟師と舟客とあり  
舟師は舟を操り  
舟客は舟を乗る



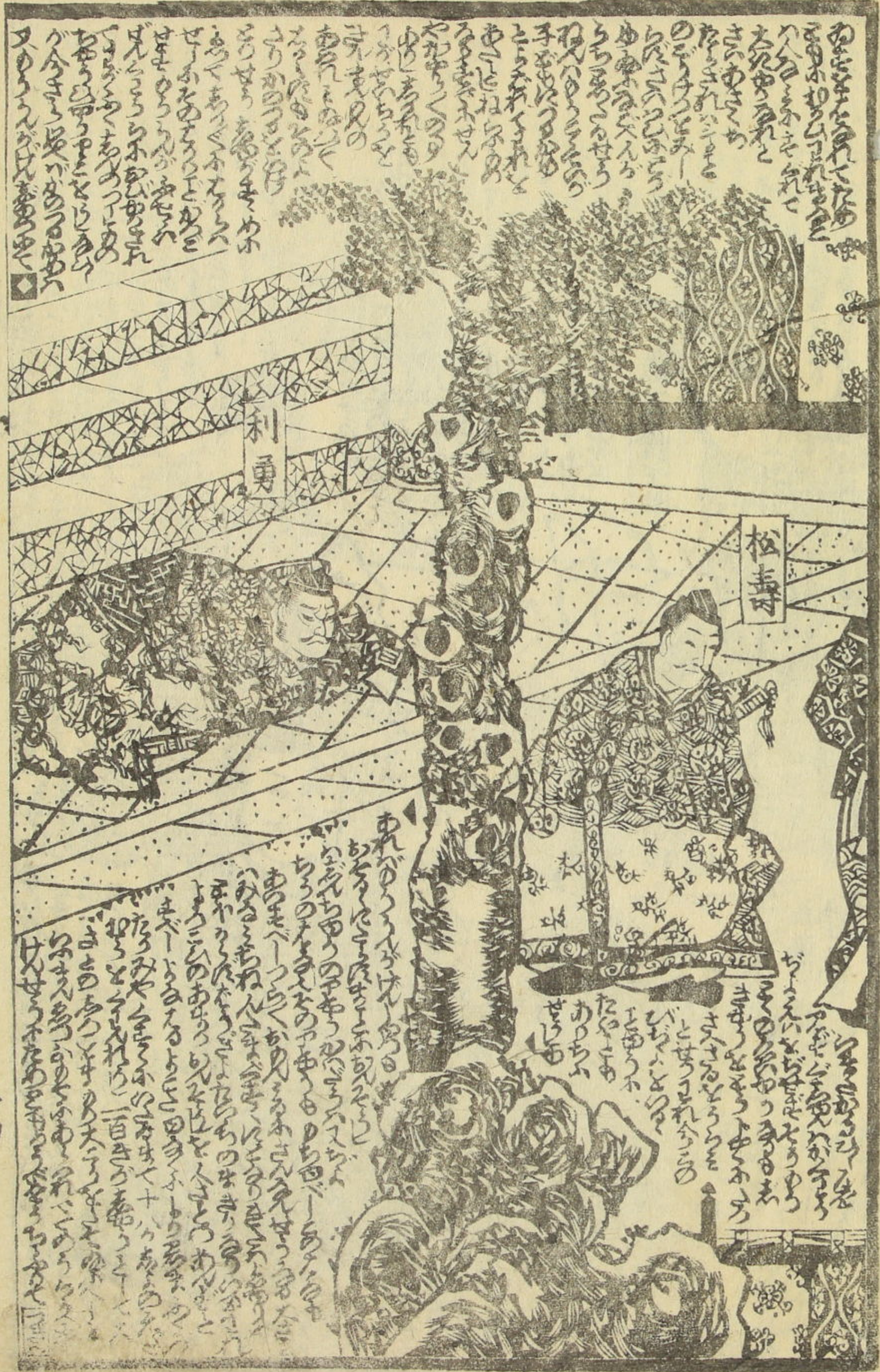
茶雲の室にありて  
二人の談話を  
見ゆれば  
二人の談話を  
見ゆれば





此の如く不承不取の事  
 ありては、人の心は、  
 必ずしも、おぼしめし  
 ぬべし。されど、  
 心算の事、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。されど、  
 心算の事、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。

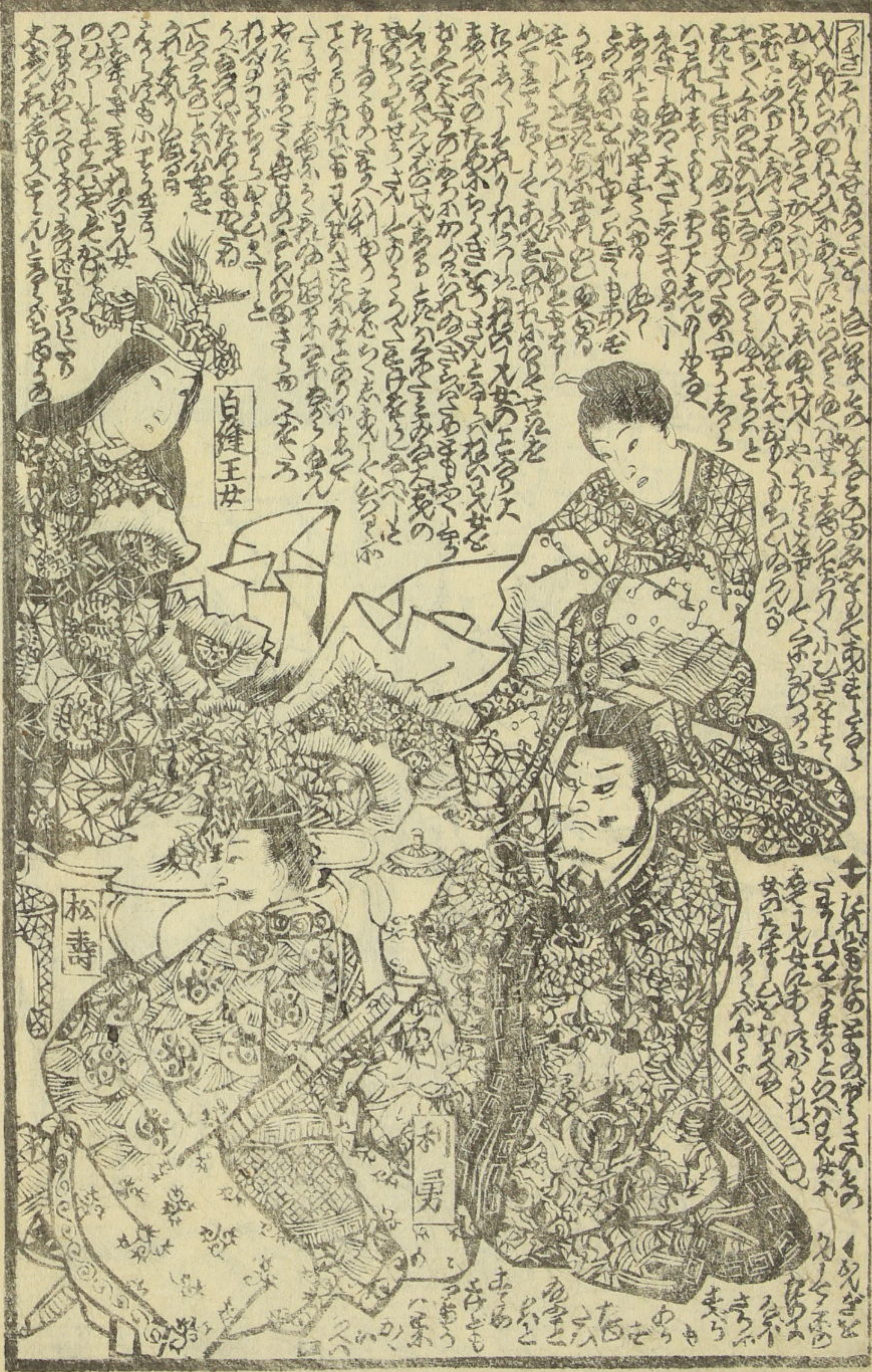
此の如く、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。されど、  
 心算の事、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。



此の如く、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。されど、  
 心算の事、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。

此の如く、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。されど、  
 心算の事、  
 人の心、  
 必ずしも、  
 おぼしめし  
 ぬべし。



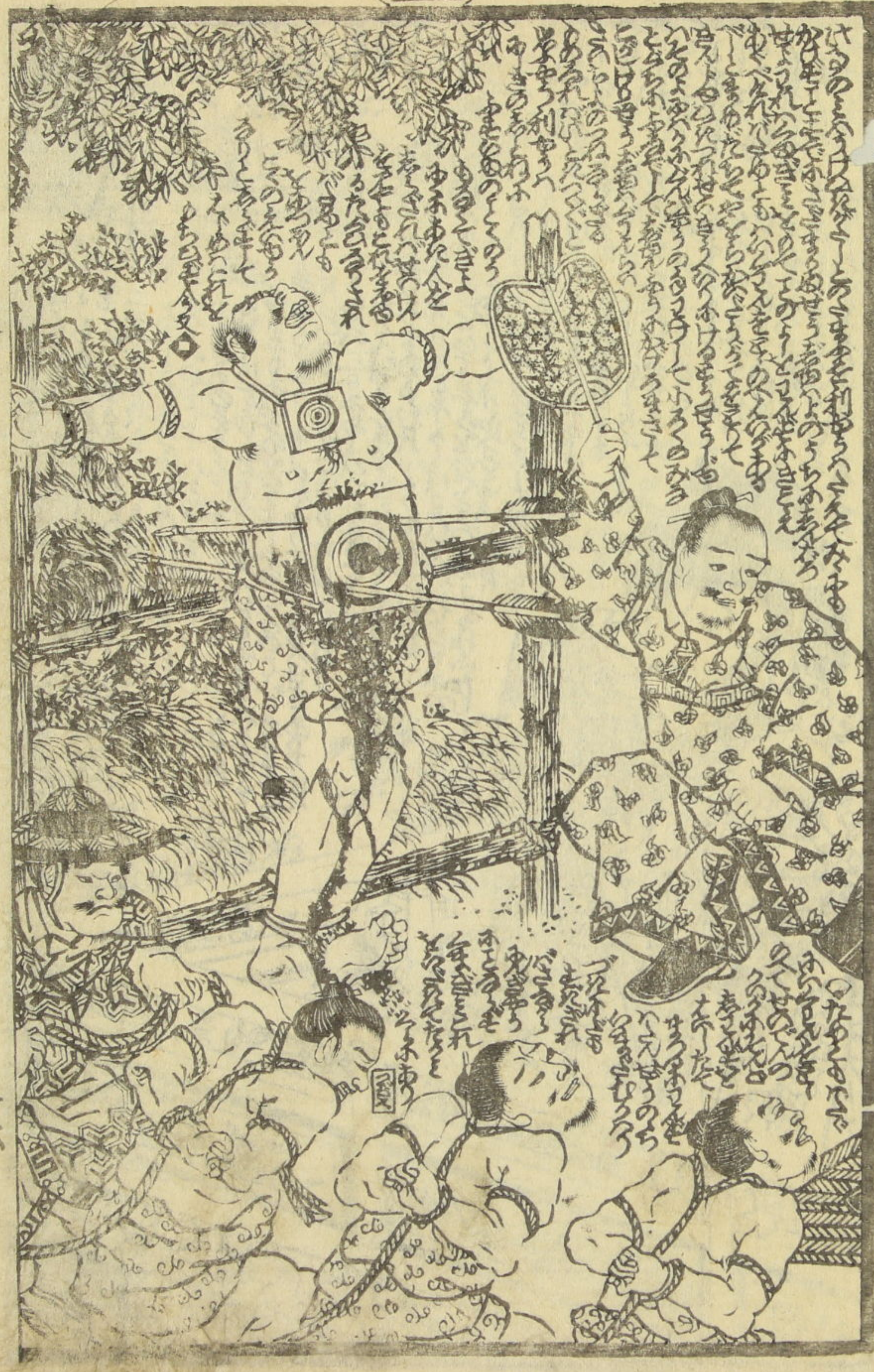


白雉王女  
 利勇  
 松壽  
 利勇



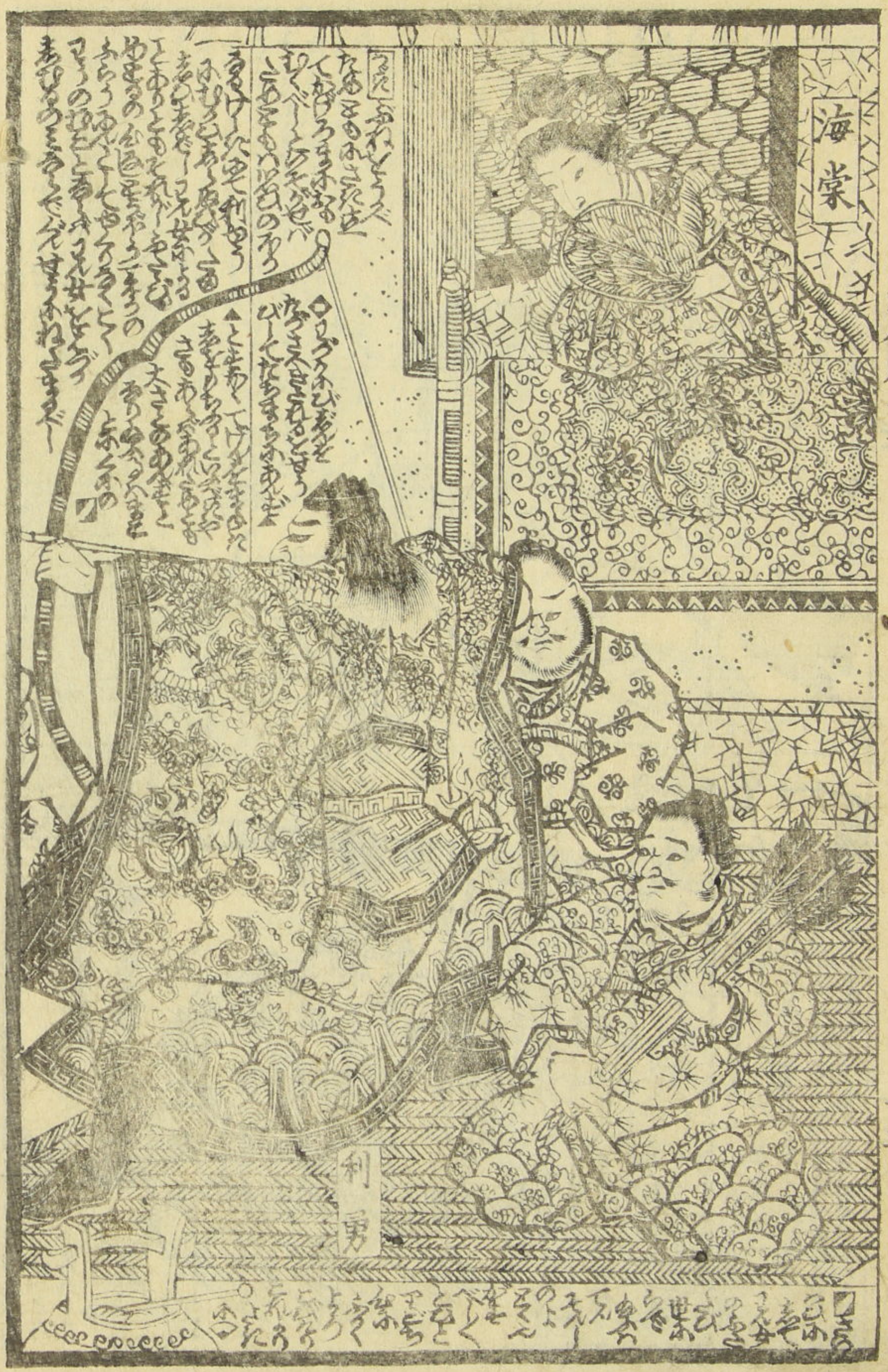
八郎為朝  
 松壽





長月

四



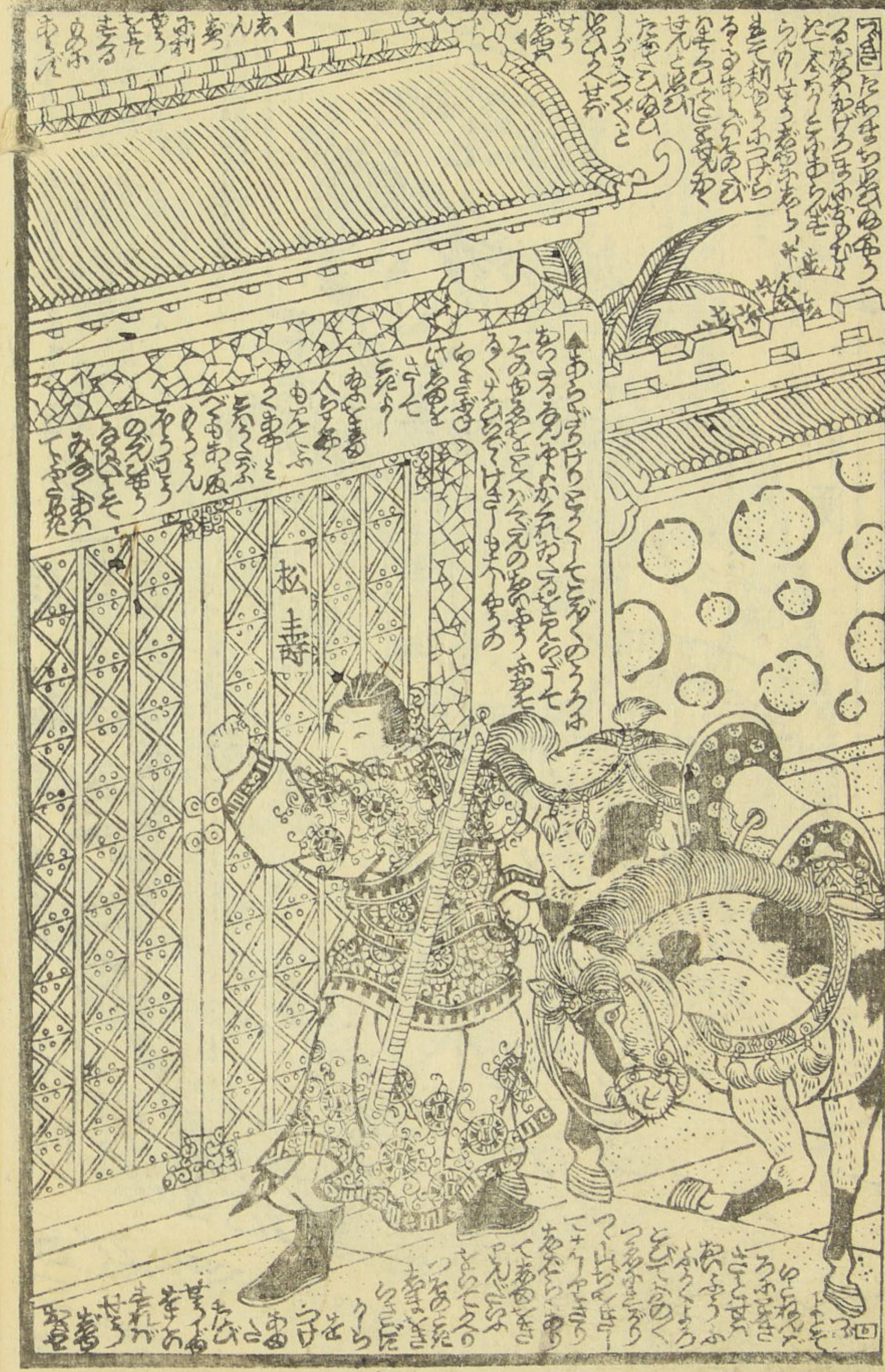
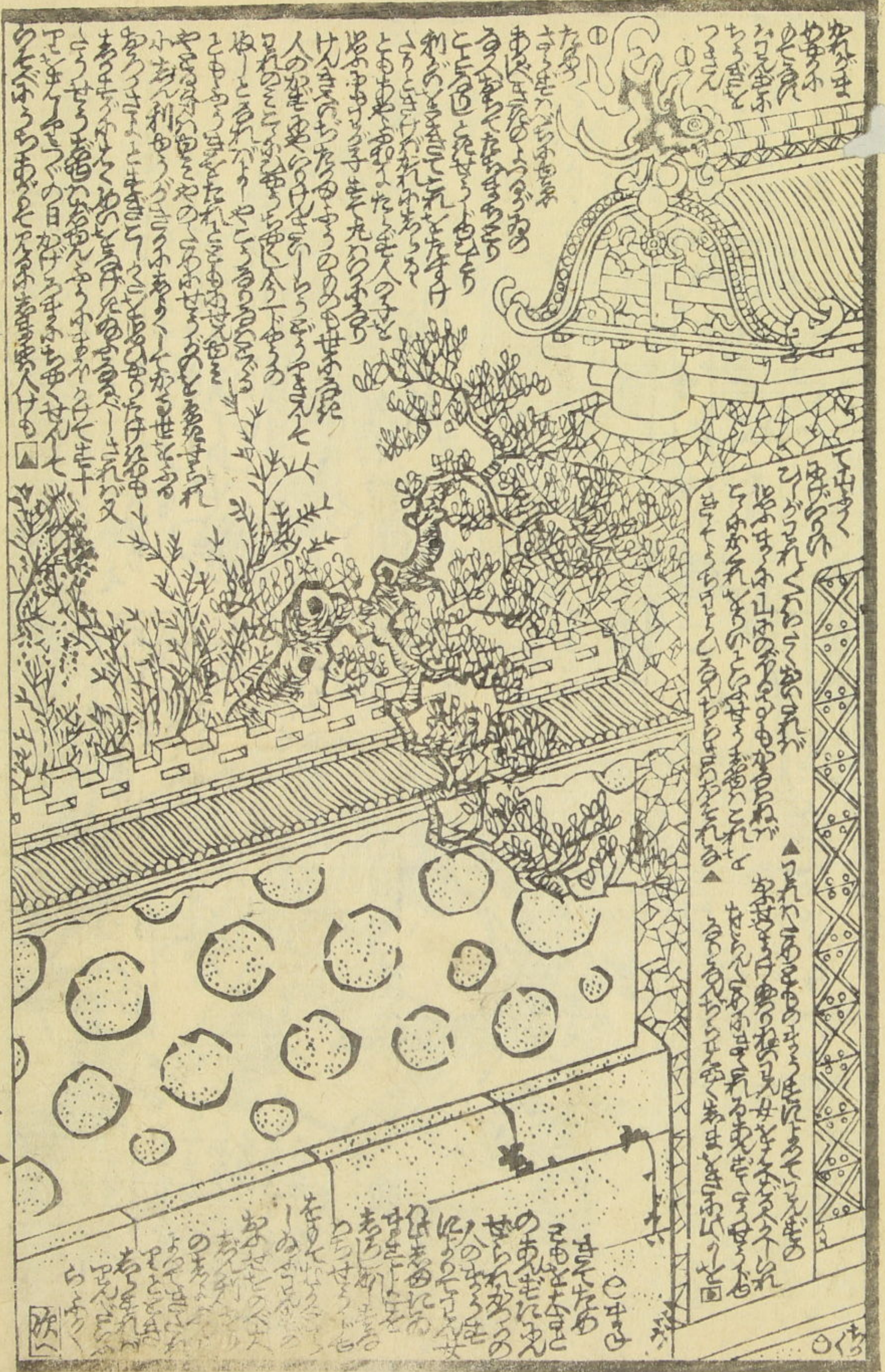
海棠

利勇









Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.









為朝

松寿

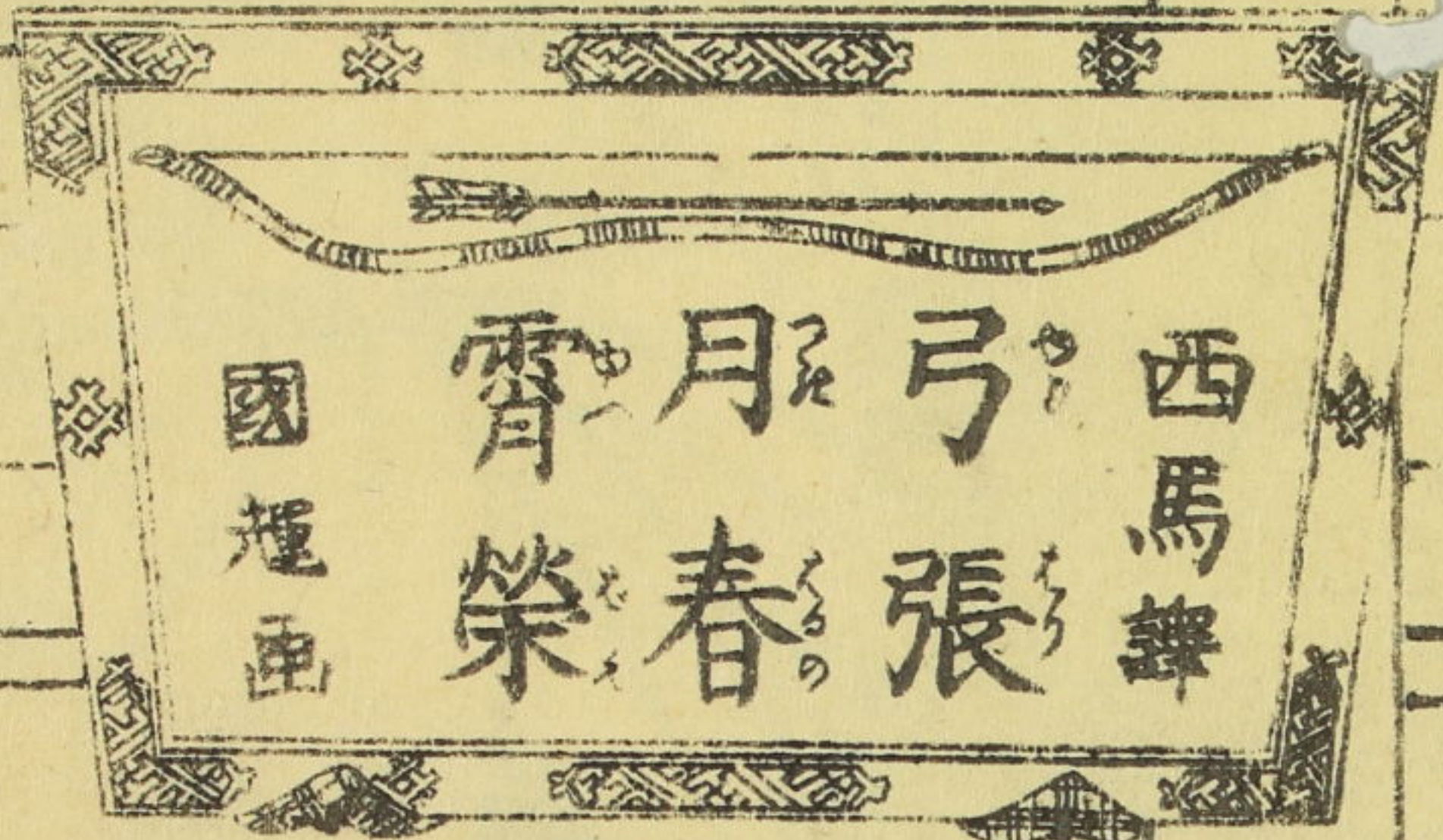


王女

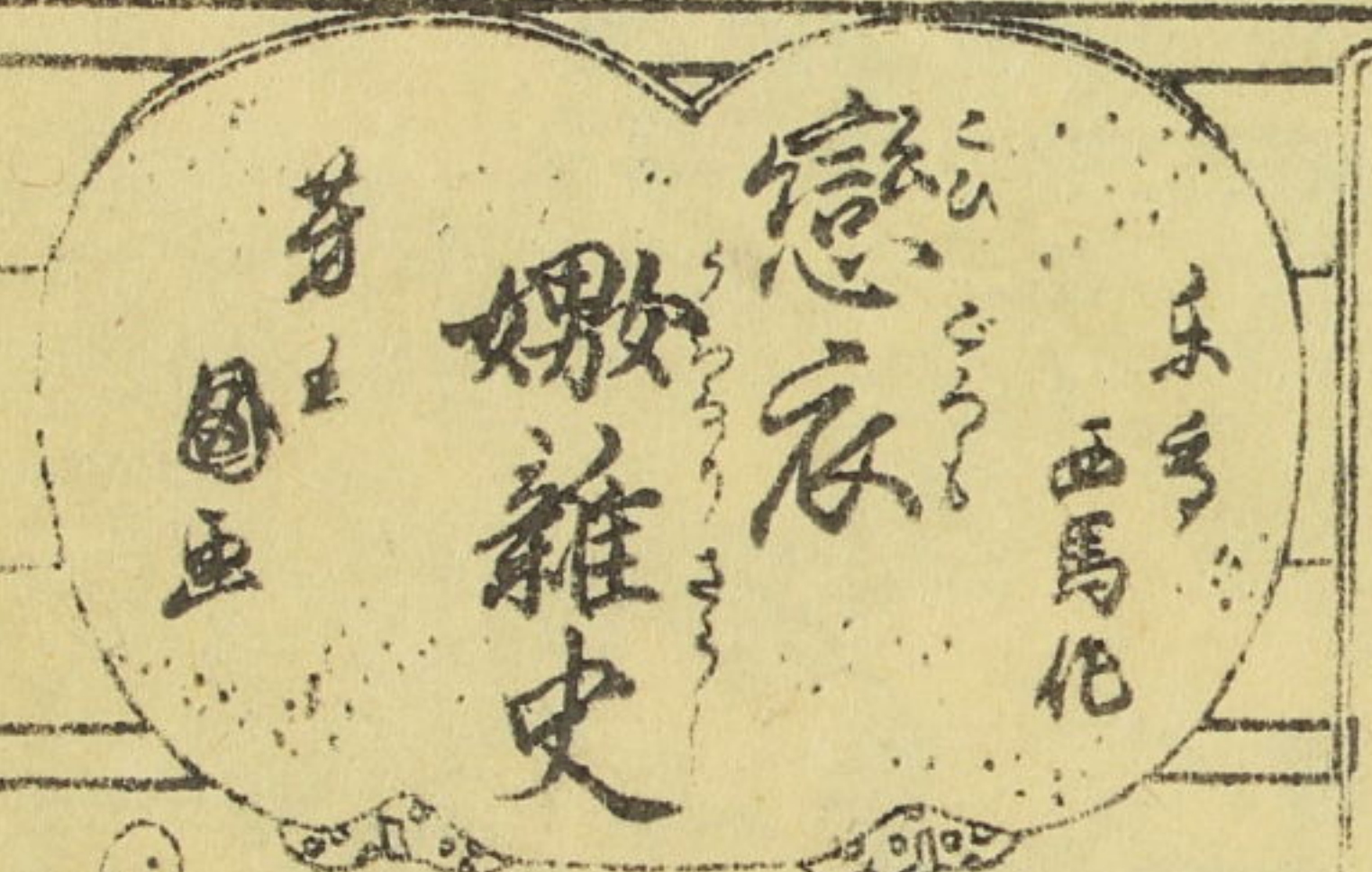


錦昇堂新發行目錄

東錦繪草紙問屋



照降町 惠比壽屋庄七梓



小夜衛白波草紙  
仙果作  
芳希画

樂亭西馬譯文

西馬譯文  
此書乃西馬譯文之精華也  
其內容豐富且易於理解  
誠為學習之良伴也  
凡欲購者請向本堂洽詢  
庶不致誤也  
此佈



雄齋國光画



